

Esprit™ BTK

Everolimus Eluting Resorbable Scaffold System

CASE REPORT

Courtesy of Matthew C. Bunte, MD, MS

足首に難治性潰瘍を伴うRB6の患者に対するEsprit™ BTKを用いた血管内治療

複雑な病歴を持つ80歳女性が、右足首の内側と外側にRB6に分類される難治性創傷を呈して来院されました。最初に流入動脈である浅大腿動脈から膝窩動脈に連続する病変に対して、スコアリングバルーンにて前拡張後にSupera™ スtentを留置。その後、膝下動脈病変に対してEsprit™ BTKを留置し血行再建に成功した一例。

患者背景

80歳女性、1型糖尿病、CAD、3枝CABGの病歴、右足首の内側と外側に難治性潰瘍を呈し、RB6に分類。(Figure 1)

診断所見

ABI: 0.8、術前のCT所見または以前に実施した血管造影所見はなかった。

I/O 流入/流出動脈の確保

- Sustainable Inflow/Outflow -

標的病変である後脛骨動脈 (PTA) の流入動脈である浅大腿動脈と膝窩動脈の血流制限を伴う病変が認められたため、スコアリングバルーンによる前拡張後にSupera™ スtentの5.5x150mmおよび5.5x100mmを重複留置し治療を完了した。標的病変である後脛骨動脈 (PTA) の流出動脈の血流は良好であった (Figure 5a)。

P 前拡張の成功

- Preparation the Lesion -

Hi-Torque Command™ ES (0.014”) と狭窄部貫通用カテーテル (0.018”) を用いて脛骨動脈にアクセスした。脛骨動脈本幹 (TPT) と後脛骨動脈 (PTA) 近位部に重度の狭窄が認められた (Figure 4a)。脛骨動脈本幹 (TPT) および後脛骨動脈 (PTA) の標的病変をIVUSを用いて観察、対照血管径はそれぞれ4.0mmと2.75mm (Figure 2 a/b) であった。病変長はそれぞれ12mmであった。後脛骨動脈 (PTA) の標的病変をスコアリングバルーンにて拡張後、2.5x20mmのノンコンプライアントバルーンを用いて前拡張した。次に脛骨動脈本幹 (TPT) の標的病変に対して4.0x20mmのノンコンプライアントバルーンを用いて16気圧で前拡張を行った。



Figure 1
右足首外側の難治性潰瘍

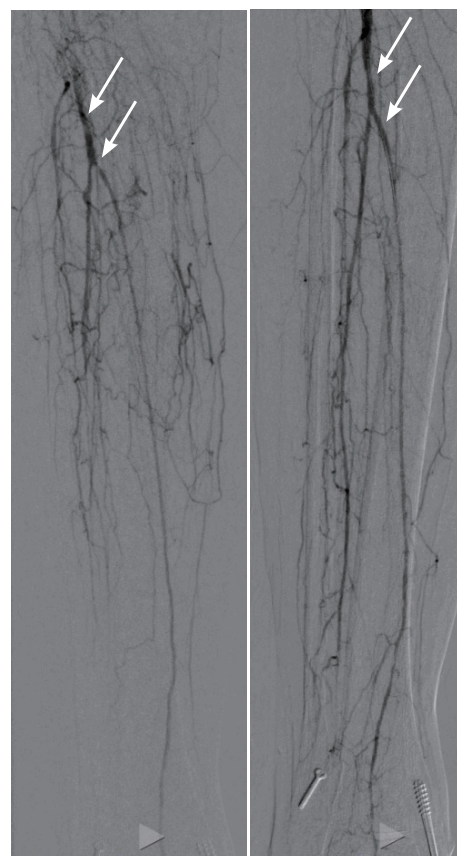
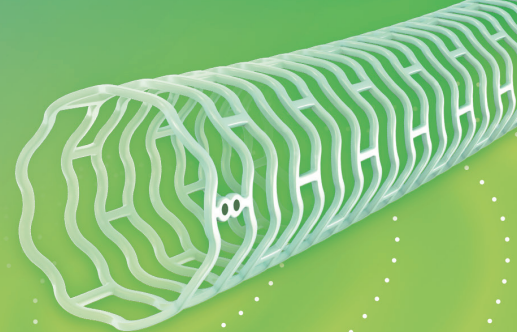


Figure 4a
治療前: 脛骨動脈

Figure 4b
治療後: 脛骨動脈

Esprit™ BTK

Everolimus Eluting Resorbable Scaffold System



S 適切なサイズ選択 - Size Appropriately -

IVUSを用いて対照血管径と1:1になるよう、後脛骨動脈 (PTA) 近位部に Esprit™ BTK 2.5x18mmを留置 (**Figure 3a**)。次に、脛骨腓骨幹 (TPT) の標的病院に Esprit™ BTK 3.75x18mmを留置した (**Figure 3b**)。

P 後拡張にて至適留置 - Post Dilatation -

後拡張は、後脛骨動脈 (PTA) に対しては2.75mm、脛骨腓骨幹 (TPT) に対しては4.0mmのノンコンプライアントバルーンを用いて実施。スキャフォールドを血管壁に十分密着させた。

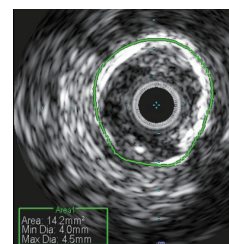


Figure 2a
脛骨腓骨幹 (TPT) :
4.0mm

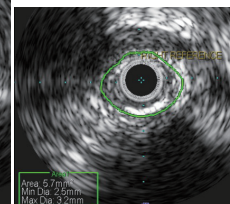


Figure 2b
後脛骨動脈 (PTA) :
2.75mm

術後の転帰

脛骨腓骨幹 (TPT)、後脛骨動脈 (PTA) 治療後の血管造影所見 (**Figure 4b**) では、足背動脈への良好な血流 (**Figure 5b**) が示された。3週間後のフォローアップでは、右足首内側および外側の難治性潰瘍の有意な改善が認められた。

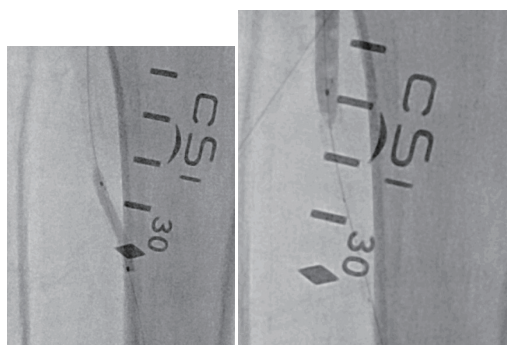


Figure 3a
後脛骨動脈 (PTA)
Esprit™ BTK
2.5x18mm 留置

Figure 3b
脛骨腓骨幹 (TPT)
Esprit™ BTK
3.75x18mm 留置



Figure 5a
治療前
足底動脈血流



Figure 5b
治療後
足底動脈血流

販売名: Esprit BTKエベロリムス溶出生体吸収性スキャフォールド 医療機器承認番号: 30700BZX00154000 分類: 高度管理医療機器

This material is intended for use by healthcare professionals only. Information contained herein for DISTRIBUTION in Japan ONLY.
Illustrations are artist's representations only and should not be considered as engineering drawings or photographs. Photos on file at Abbott.
本製品は、医師による使用または医師の指示の下で使用される製品です。本書は、医療従事者のみを対象としています。
製品の使用にあたりましては、添付文書をご確認のうえ適正使用にご協力をお願い申し上げます。

製造販売業者

アボットメディカルジャパン合同会社

本社: 〒105-7115 東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター

お問い合わせ: VASCULAR事業部

〒108-6304 東京都港区三田3-5-27 住友不動産東京三田サウスタワー 4F

Tel (03)4560-0780 Fax (03)4560-0781

™ Indicates a trademark of the Abbott Group of Companies.

www.cardiovascular.abbott/jp

©2025 Abbott. All rights reserved. (MAT-2507539 v1.0)

